

平成 2 7 年度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事業報告並びに収支計算書

平成27年度社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告並びに収支計算書

目 次

【事業報告】

I 重点目標の取り組みについて	
1. 組織体制の基盤強化	1
2. 重点事業	3
II 事業報告	
1. 地域福祉事業の推進	5
2. 相談援助事業の実施	6
3. 福祉資金貸付事業の実施	7
4. ボランティア事業の推進	8
5. 住民参加型在宅福祉サービス事業 （ふれあいサービス）の実施	10
6. 自動販売機設置経営事業の実施	10
7. あさか福祉作業所の管理運営事業の実施	10
8. 市委託事業の受託経営	11
9. 指定管理事業の受託経営	13
10. その他の関連事業	17

【収支計算書】

◇ 収支計算書総括表	18
◇ 法人全合算 収支計算書	19
◇ 法人全合算 内訳表	24
1. 社会福祉事業区分	27
（1）地域福祉事業拠点区分	30
（2）高齢者福祉事業者	47
（3）障害福祉事業	58
（4）児童福祉事業	78
2. 公益事業区分	92
（1）総合福祉センター管理事業	
3. 収益事業区分	101
（1）自動販売機設置経営事業	
◇ 財産目録	106

【監査報告書】

◇ 監査報告書	107
---------	-----

平成 2 7 年度

事 業 報 告

I 重点項目の取組み

1. 組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成27年第5回	平成27年 5月28日	14人	平成26年度事業報告等、 5議案
平成27年第6回	平成27年 8月28日	13人	職員就業規程の一部改正等、 3議案
平成27年第7回	平成27年11月26日	14人	嘱託職員就業規程の一部改正等、 2議案
平成28年第1回	平成28年 2月 8日	14人	朝霞市障害者ふれあいセンター の受託経営等、 5議案
平成28年第2回	平成28年 3月28日	15人	平成28年度事業計画等、 7議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
平成27年第3回	平成27年 5月28日	27人	平成26年度事業報告等、 4議案
平成27年第4回	平成27年 8月28日	23人	補正予算 1議案
平成28年第1回	平成28年 2月 8日	27人	朝霞市障害者ふれあいセンター の受託経営等、 4議案
平成28年第2回	平成28年 3月28日	27人	平成28年度事業計画等、 4議案

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：平成27年 5月13日

平成26年度業務監査及び会計監査

○中間監査：平成27年11月19日

平成27年度上半期の業務監査及び会計監査

◇各種委員会等の開催

○正副会長会議

適宜開催し、理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

・開催回数：5回

○総務委員会

・第1回：平成28年 1月27日（出席者7人）

委員長・副委員長の互選について

朝霞市障害者ふれあいセンターの受託経営について

○財政委員会

- ・第1回：平成27年 6月 3日（出席者6人）
平成27年度社協会員会費の募集等について

○広報委員会

- ・第1回：平成27年 6月 4日（出席者9人）
広報「社協あさか」7月号の編集発行等について
- ・第2回：平成27年 9月 4日（出席者9人）
広報「社協あさか」10月号の編集発行等について
- ・第3回：平成27年12月 3日（出席者9人）
広報「社協あさか」1月号の編集発行等について
- ・第4回：平成28年 3月 3日（出席者9人）
広報「社協あさか」4月号の編集発行等について

◇苦情解決の適切な対応

各種福祉サービスについて、利用者等からの苦情に対し適切な対応で解決を図りました。

○苦情件数 4件

No.	受付日	担当部署	内容
1	平成27年 7月28日	きたはら児童館	異年齢児童における遊戯室での遊びのルールについて
2	平成27年 9月 1日	あさか福祉作業所	職員の対応について
3	平成28年 2月19日	ひざおり児童館	児童館内での利用者における営業活動について
4	平成28年 3月25日	岡放課後児童クラブ	元職員による児童クラブでのボランティア活動における児童への対応について

(2) 人材育成と専門性の向上

◇職員の意識啓発及びスキルアップのための研修の実施

第2期地域福祉活動計画最終年度として、4年間の取組みや事業の成果について検証し、今後の課題を共有するとともに、第3期地域福祉活動計画に向けて、全体の意識の統一を図ることを目的に、活動報告研修会を開催しました。

また、職員研修計画に基づき、専門知識の習得と技術の向上を図るため、リーダーシップ研修等の内部研修や中堅職員・管理者研修等の派遣研修を実施しました。

○地域福祉活動計画報告研修会：2回（社協全職員対象：延べ182人）

- ・期 日：平成27年7月8日、平成28年3月9日

○ファシリテーション研修：1回（社協主任級対象：17人）

- ・期 日：平成28年2月4日

(3) 財政基盤の強化

◇寄付金実績報告

当会の地域福祉事業の推進にご賛同いただき、多くの方々より寄付をいただきました。

○個人：延べ15件 333,618円

○団体：延べ31件 1,157,709円

◇第三者推進委員による計画の進行管理

第2期地域福祉活動計画を確実に推進するため、第三者推進委員会において計画の進行管理を行いました。

○第1回：平成27年 6月 8日（出席者7人）

○第2回：平成28年 3月 4日（出席者7人）

【プロジェクト②】

地域と社協の顔の見える関係づくり

◇住民ニーズ・地域事情を把握し事業に反映

住民ニーズを広く調査するために朝霞市が実施した住民アンケートに社協としての質問事項を加えたことで、多くの回答結果が得られ、住民ニーズの解析を行いました。

また、各施設で実施した利用者満足度調査の結果から、運営に反映されている事項や改善した点をまとめるなど、各事業の見直し、検証を実施しました。

◇広報プロジェクトチームによる新たな広報手段の展開・検証

情報担当者会議にて実施した広報に関するアンケート結果を基に、広報紙をより分かりやすく伝えられるよう、表紙の全面写真掲載やAR動画の本格的な導入を行いました。

また、主に児童館が中心となり、すまいるFMやケーブルテレビ等の外部情報ツールを活用することで積極的に施設や社協のPRを行いました。

○情報担当者会議の開催：11回

【プロジェクト③】

地域に広がる小地域福祉活動の推進

◇第2期モデル地区活動支援

第2期モデル地区の活動支援として、宮戸町内会の協力により実施している子育て支援サークルの活動を支援するとともに、アンケート調査及び集計を行いました。これらの調査を基に町内会役員及びサークル関係者でこれまでの活動の振り返りを行いました。

◇小地域福祉活動普及啓発のための地域懇談会の実施及び報告会開催

地域包括支援センター圏域に地域を分け、6月から7月に計5ヶ所で地域住民を対象とした地域懇談会を開催しました。（詳細は5ページ参照）

【プロジェクト④】

地域まるごと福祉教育・ボランティア活動の推進

◇小中学校での福祉教育における支援

朝霞地区四市福祉教育研修会について、校長会への出席や小学校の福祉教育担当者を訪問し先生向けに周知を行いました。福祉教育の依頼については、講師の調整や福祉機器の貸出し等の支援を行いました。

（詳細は8ページ参照）

◇青少年ボランティア講座の実施

東洋大学学園祭において、学生ボランティアセンターと共催でブースを出し、ボランティアクイズや点字体験、共同募金活動を実施したことで、社協の取組みを地域の方々に知っていただく機会となりました。また、東洋大学とのつながりを深めることができました。

（詳細は9ページ参照）

II 事業報告

1. 地域福祉事業の推進

地域の課題解決を目指し、市内4ヶ所の自治会・町内会を中心に、地域で行われる住民主体の取り組みを支援しました。

◇小地域福祉活動の支援、拡充のための報告会、地域懇談会の実施

【小地域福祉活動の支援】

- 溝沼第二町内会：「ささえあい活動」支援、戸別訪問同行、役員会等への参加【4回】
- 溝沼第三町内会：「ささえあい活動」相談支援、役員会等への参加【2回】
- 富士見町内会：こ（子・個）育てサロン「ありがとうの会」の支援【16回】
- 宮戸町内会：子育て支援サークル活動支援【11回】

◇ふれあい・いきいきサロン活動の支援

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループに対して、運営にかかる費用の助成及び交流会を実施しました。

- ふれあい・いきいきサロン助成金：17団体 1,027,500円

○老人会食グループ、ふれあい・いきいきサロン合同交流会

- ・期 日：平成28年 1月30日
- ・場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- ・参加者：36人（19団体）

◇小地域福祉活動拡充のための報告会、地域懇談会の実施

○孤立防止フォーラム（新座市社会福祉協議会・埼玉県社会福祉協議会主催）

新座市で行われた、孤立防止フォーラムのパネルディスカッションにおいて、『こ（子・個）育てサロン「ありがとうの会」』が実践報告を行いました。

- ・期 日：平成27年9月4日
- ・場 所：十文字学園女子大学
- ・内 容：基調講演（十文字学園女子大学 佐藤教授）、「愛の反対は無関心」
パネルディスカッション（新座市、朝霞市、志木市、和光市 各1人）
「これからの地域を考えよう」朝霞市は地域の居場所づくりの取り組みとして、ありがとうの会副代表 野本雅代氏が報告を行いました。
- ・参加者：165人

○地域懇談会（しゃべり場）

市民の方が普段の地域生活で感じていることや、地域での課題を把握するとともに、それらに対する解決策や方向性について意見をうかがい、第3期朝霞市地域福祉活動計画策定の参考とすることを目的として、市内を5圏域に分け実施しました。

- ・期 日：平成27年6月27日～7月1日（全5回）
- ・場 所：産業文化センター、総合福祉センター、根岸台市民センター、総合体育館、市民会館
- ・内 容：オリエンテーション、ワークショップ、発表
- ・参加者：延べ122人

◇広報紙「社協あさか」やホームページ等による福祉情報の発信

○「社協あさか」の発行 年4回

・発行：7月・10月・1月・4月号

○社協ホームページの充実

広報紙「社協あさか」や定期的に発行される各施設のおたよりなどを掲載、各種イベントや講演会の案内、身近な福祉の情報など社協の多様な事業に関する情報提供を行いました。

◇社協出前講座の推進および周知啓発

○社協出前講座の実施

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

・依頼元：自治会・町内会、民生委員、地域活動福祉団体、地域サロン、大学等

・依頼件数：12件

・内容：社協について、いきいきサロンについて、車いす体験・ガイドヘルプ等

◇地域福祉活動団体等との連携・活動支援

○福祉団体等補助金：13団体 1,175,000円

○ボランティア活動支援助成金：15団体 485,000円

◇地域福祉活動の担い手の育成

ボランティアとして活動したい人を対象に講座を開催し、ボランティアについての理解を深めていただき、実際に活動者として活躍してもらえるよう支援することを目的に実施しました。

(詳細は9ページ参照)

◇ホームクリーニング事業の実施

歳末たすけあい運動として、市内のひとり暮らし高齢者や障害者世帯を対象に、民生委員やボランティアの方の協力を得て、地域住民どうしの交流を図りながら、日頃手の届かないところの掃除を行い、気持ち良く新年を迎えていただくことを目的に実施しました。

○期間：平成27年10月1日～11月30日

○件数：58世帯

○活動者：20人

2. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートネット）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

○生活支援員：5人

○活動日数：延べ185日

○相談数等：延べ552件

○利用契約者：10人（認知症高齢者2人・知的障害者6人・精神障害者2人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置及び社協ホームページへのサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員研修会の実施

埼玉弁護士会出前講座「虐待防止法とは～虐待されている人を見つけたら～」を実施し高齢者・障害者への虐待件数が増加する中で利用者の権利をいかに守るか、支援を行う上での視点を学びました。

また、生活支援員としての資質の向上を図るため、県社協主催の専門員・生活支援員専門研修会等に参加しました。

(2) 心配ごと相談所事業

家族や仕事の問題等、日常生活上のさまざまな相談に対し電話と対面による相談を実施しました。

○相談員：6人（民生委員）

○対面相談：第1・3・5金曜日 午後1時30分～3時30分
溝沼老人福祉センター相談室

○電話相談：第2・4金曜日 午後1時30分～3時30分
専用ダイヤル【486-2525】

○相談件数：延べ25件

◇事業の周知啓発

広報紙「社協あさか」等への事業案内の掲載の他、新たにチラシを作成し市内公共施設、サロン等に配布しました。

また、会員会費説明会等においても事業説明を行い、周知啓発に努めました。

◇相談員研修会の実施

相談員としての資質の向上のため、福祉サービス利用援助事業生活支援員研修会と合同で実施しました。

○期 日：平成27年12月15日

○場 所：朝霞市総合福祉センター 会議室

○内 容：虐待防止法とは～虐待されている人を見つけたら～

○参加者数：9人

(3) 相談支援体制づくり

相談、問い合わせに対し、適切な関係機関を紹介、また、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ明瞭に対応できる体制づくりに努めました。

3. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

○貸付相談：延べ126件

○貸付件数：4件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

○貸付相談：延べ6件

○貸付件数：1件

○償還完了件数：12件

4. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

区分	団体	個人
人数	733人（65団体）	113人

○団体利用室利用状況：登録団体24団体 延べ利用件数227件

○録音室利用状況：利用団体2団体 延べ利用件数66件

○福祉機器等貸出し件数：88件

（車いす・アイマスク・点字版・リフト付自動車等）

◇ボランティア情報の収集、発信

ボランティアセンターの活動やボランティアに関する情報、取り巻く状況等をボランティアや関係団体、地域住民に理解してもらうためにボランティアニュースを発行し、配布しました。

○発行回数：年4回（1回2,000部）

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催

○対象者：四市内で福祉教育に関わっている教職員及びボランティア

○期 日：平成27年8月6日、7日

○場 所：朝霞市総合福祉センター はあとびあ

○内 容：講座・体験 知的・発達障害について

福祉体験（アイマスク、認知症サポーター、手話）、各市情報交換会

○参加者：四市合計 延べ109人（朝霞市延べ19人）

◇福祉教育の相談、支援

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。

○依頼件数：小学校9校 延べ28件

○内 容：体験学習（車いす・ガイドヘルプ・手話・点字）

講演「視覚障害者への理解」

◇ボランティアバス運行事業（東日本大震災復興支援事業）

東日本大震災復興支援事業として、ボランティアバス運行事業を実施し、南相馬市小高地区でボランティア活動を行いました。

○対象者：朝霞市内在住・在勤・在学で18歳以上（高校生除く）

○期 日：平成27年10月31日

○場 所：福島県南相馬市小高地区

○内 容：自宅敷地内の瓦と石を分けて土嚢袋に入れる作業

○参加者：19人

◇ボランティアバス運行事業（関東・東北豪雨支援事業）

平成27年9月関東・東北豪雨支援事業として、ボランティアバス運行事業を実施し、常総市でボランティア活動を行いました。

○対象者 朝霞地区四市（朝霞・志木・和光・新座）社会福祉協議会職員

○期 日 平成27年10月21日

○場 所 常総市市内

○内 容 家財や土砂の運び出し等

○参加者 27人

◇災害ボランティア講座

被災地の南相馬市社会福祉協議会 常務理事を講師に招き、震災から今日までの状況や復興の進行状況について講演していただきました。

○期 日：平成28年3月5日

○場 所：朝霞市中央公民館

○講 師：南相馬市社会福祉協議会 常務理事 廣瀬要人氏

○参加者：83人

○義援金：7,236円

◇ボランティア講座の開催

【ボランティア入門講座】

○地域福祉サポーター養成講座（ボランティア入門講座との合同事業）

・期 日：平成27年7月30日、31日

・場 所：西朝霞公民館

・内 容：第1回 認知症サポーター養成講座

講師：地域包括支援センター つつじの郷

第2回 ボランティア体験、参加者意見交換

協力：グループホーム彩花

・参加者：17人

【青少年ボランティア講座】

○期 日：平成27年10月31日、11月1日

○場 所：東洋大学

○内 容：ボランティアクイズ、点字体験、共同募金活動

○参加者：150人

【傾聴ボランティア養成講座】

○期 日：平成28年2月6日、13日、20日

○場 所：朝霞市総合福祉センター はあとびあ 会議室

○内 容：傾聴ボランティアについて

○参加者：27人

◇ボランティア体験プログラムの実施

子どもから大人まで誰もが気軽に参加できる体験メニューを用意し、ボランティア参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

○対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者

○期 間：平成27年7月～10月（強化月間7・8月）

○場 所：市内各福祉施設等

○内 容：保育園、福祉施設等の20メニューの中から体験学習

○参加者：延べ207人

◇余暇支援・交流事業の実施

【友・遊ひまわりスクール】

○対象者：障害児（小・中・高校生）

○期 日：平成27年6月6日～平成28年2月6日 全5回

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○内 容：工作・調理・運動等

○参加者：延べ56人（障害児44人・ボランティア12人）

【知的障害者スポーツレクリエーション】

- 対象者：18歳以上の知的障害者
- 期 日：平成27年6月13日～平成28年3月12日 全10回
- 場 所：朝霞市総合福祉センター・アリーナ
- 参加者：延べ184人（知的障害者162人 ボランティア22人）

5. 住民参加型在宅福祉サービス事業（ふれあいサービス）の実施

◇ふれあいサービス事業

住民の参加と協力により、高齢者や障害者、子育てなどで日常生活上の支援を必要とする方に対し、有償の家事援助、外出援助、子育て支援等を行いました。

登録利用者	登録協力者	派遣協力者	派遣日数	派遣時間数
69人	88人	延べ40人	延べ1,096日	延べ1,631時間

◇ふれあいサービス協力員研修会

ふれあいサービス活動の理解を深め、活動の推進を目的として、換気扇、窓掃除の勉強会、協力員同士の意見交換会等を実施しました。

- 期 日：平成28年 2月19日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- 参加者数：24人

◇福祉有償運送事業

車イス利用者等身体的理由により、移動困難者の社会参加を促進し、在宅福祉の増進を図るため、福祉車両を使用し有償ボランティアの協力を得て移送サービスを提供しました。

登録利用者	登録協力者	運送回数	運送人数
13人	21人	延べ129回	延べ148人

6. 自動販売機設置経営事業の推進

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。

- 設置台数：2台（市役所庁舎内、パンやこっぺ）
- 収 益 金：197,818円

7. あさか福祉作業所の管理運営事業

障害者総合支援法に基づき、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

なお、平成28年3月末に旧第四小学校プレハブ校舎の仮施設から新施設（上内間木）へ移転し、平成28年4月1日に朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所が開所しました。

- ①所在地：朝霞市上内間木493-9
- ②開所日：月曜日～金曜日
- ③利用者数(年度末)

○定員40人 利用者41人（生活介護8人・就労継続支援B型33人）

④通所状況

○送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主登所

⑤主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

プラスチック部品組立、検品、線香箱詰め、機械用オイル詰め・箱入れ作業等

○パンの製造販売

(株)丸沼倉庫の協力を得て、毎週水曜日、丸沼倉庫パン工房にてパンの製造並びに販売

・販売日：毎週水曜日

・販売場所：(株)丸沼倉庫パン工房前

○社会参加活動、農作業等

市内特別養護老人ホームでのベットシーツ交換、洗濯物たたみ作業、福祉施設の清掃、自主製作品展示販売会、農作業、赤い羽根共同募金（街頭募金）

⑥主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、音楽療法、成人病予防事業、日帰り課外体験研修、誕生会、彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科検診、歯科検診、手洗いチェック

⑧ボランティアの受入れ

○受入人数：3人

○活動内容：利用者の作業見守り等

8. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

○派遣依頼件数：534件（個人374件・自治体60件・学校29件・団体71件）

○派遣件数：492件

○派遣人数：610人 専任手話通訳者 延べ324人

登録手話通訳者 延べ269人

県、都などからの派遣協力 17人

◇手話通訳者の育成

○手話講習会（入門）

・期日：平成27年5月～10月

・参加者：25人

・講師：戸田康之氏（朝霞市聴覚障害者協会）

・アシスタント：あさか手話サークル「あじさい」

○手話講習会（基礎）

・期日：平成27年10月～平成28年3月

・参加者：31人

・講師：戸田康之氏（朝霞市聴覚障害者協会）

・アシスタント：あさか手話サークル「あじさい」

○手話講習会（養成・後半）

- ・期 日：平成27年4月～10月
- ・参加者：18人
- ・講師：小藺江 聡氏

（元国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官）

- ・アシスタント：専任手話通訳者

○手話講習会（フォローアップ）

- ・期 日：平成27年11月（4回）
- ・参加者：11人
- ・講師：専任手話通訳者

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- ・期 日：平成27年12月9日
- ・受験者：7人
- ・合格者：1人

◇手話通訳者等派遣事務所主催講演会

- ・期 日：平成27年11月14日
- ・講師：飯泉 菜穂子氏（世田谷福祉専門学校手話通訳学科 学科長）
- ・講演テーマ：「つながり」
- ・参加者：40人

(2) 障害者就労支援センター業務

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

○登録者数：252人（新規登録者39人）

（身体38人・知的62人・精神141人・その他11人）

○就職者数：33人

○就職先の主な業種

- ・身体障害：事務、販売、倉庫内作業
- ・知的障害：事務、清掃、販売、物流、就労継続支援A型
- ・精神障害：事務、清掃、製造、販売、物流、倉庫内作業

○事業所・関係機関との連携

事業所開拓	58件	雇用相談	延べ 883件
調査研究・普及啓発	延べ34件	関係機関との連携	延べ1,614件

○余暇支援事業

- ・期 日：平成28年 2月28日
- ・場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- ・内 容：朝霞市の防災対策講座
- ・参加者数：8人

(3) はあとびあ障害者相談支援センター業務

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

○登録者数：212人（新規登録者26人）

（身体48人・知的88人・精神75人、高次脳機能1人）

○相談件数 延べ3,961件

（身体573件、知的1,544件、精神1,844件）

○サービス等利用計画作成及びモニタリング人数：延べ396人（契約実人数85人）

○相談内容：医療・健康、ホームヘルプ、通所施設、社会参加、余暇活動、
各種福祉サービス利用、保育・教育、ショートステイ、家族・人間関係、
金銭・財産管理、福祉情報等

9. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

また、会議室・調理実習室・中庭広場等の貸出基準の見直しを図るとともに、福祉の向上を目的に活動している団体に施設の貸出しを行いました。

○開館日数：291日

○共用施設利用状況：991件 延べ10,516人

（集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室）

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

・第1回 平成27年10月 6日 参加者：155人

・第2回 平成28年 3月 2日 参加者：135人

○はあとびあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施し、ふれあい祭り実行団体の活動内容の紹介も取り入れました。

・期 日：平成27年11月23日

・来 場 者：延べ738人

【はあとびあ障害者多機能型施設】

障害者総合支援法に基づき、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等、多機能型施設としてのサービスを提供しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

○定員55人 利用者51人（生活介護9人・就労継続支援B型42人）

③通所状況

○送迎サービスの他、自転車、徒歩等による自主登所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

ハンガー組立、食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、
靴下ストッキング返し作業、市内幼稚園の園内清掃、コンビニ景品封入れ等

○社会参加活動

児童館祭り喫茶参加、赤い羽根共同募金（街頭募金）、自主製作品展示販売会

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇並びに、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、
灌水、除草、清掃等の管理整備

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日）

○営業日数：178日

○来客数：2,713人

○外部出店：市内児童館の祭りに出店

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日）

○営業日数：195日

○来客数：11,695人

○出張販売：市役所、地域包括支援センターモーニングパーク等に出店

⑧主な年間行事

保護者懇談会及び個別面談、成人病予防事業、日帰り課外体験研修、
彩夏祭「鳴子踊り」、消防訓練、ふれあいスポーツ大会等

⑨保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診

⑩ボランティアの受入

○受入人数：7人

○活動内容：売店及び利用者の作業見守り等

【地域活動支援センター事業】

障害者総合支援法に基づき、障害者の方々に対して、入浴や給食サービスを行う他、
心身機能の維持・向上と家族の方々の介護負担の軽減を図るために、生活指導、機能訓練、
社会適応訓練、身体介護等のサービスを提供しました。

○主 な 活 動：療育音楽、園芸療法、健康増進、作業療法、言語療法、カラオケ、書道、
手芸、誕生会、調理体験、季節の外出、日帰り課外体験、
赤い羽根共同募金（街頭募金）、ふれあい祭り出店販売、個別面談、
1日体験、介護体験実習生受け入れ、消防訓練等

○開 所 日：火曜日～土曜日

○実利用人数：延べ365人

○利 用 回 数：延べ2,606回

【老人デイサービス事業】

介護保険法に基づき、要介護及び要支援認定を受けた在宅の援護が必要な方に、入浴や給食サービスを行う他、心身機能の維持・向上や家族の方々の介護負担の軽減を図るために、生活指導、機能訓練、介護等のサービスを提供しました。

○主 な 活 動：個別機能訓練、集団機能訓練、はつらつ体操、敬老会、クリスマス会、老デイ夏祭り、季節の外出（花見、紅葉）、手芸、書道、音楽療法、誕生会、介護体験等実習生受け入れ、消防訓練等

○開 所 日：火曜日～土曜日

○実利用人数：延べ330人

○利 用 回 数：延べ2,376回

【ホームヘルプサービス事業】

介護保険法に基づき、要介護及び要支援認定を受けた方で、日常生活を営むのに支障がある方及び介護保険制度の要介護認定で「自立」と認定された方、障害者総合支援法に基づき、在宅の心身障害者（児）等で入浴、食事、排泄等の便宜を必要とする方へ、ホームヘルパーを派遣して日常生活の世話や身体介護等のサービスを提供しました。

また、介護技術等講習会や「災害時の支援と地域づくり」と題して市民向け講座を実施しました。

○主 な 業 務：入浴・排泄・食事の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、外出時における移動の介助、その他生活全般にわたる援助等

○介護保険居宅サービス

開所日数	294日		
介護給付事業	実利用者人数	201人	延べ利用回数 1,735回
予防給付事業	〃	177人	〃 942回

○障害者居宅サービス

開所日数	294日		
身体障害者	実利用者人数	82人	延べ利用回数 912回
知的障害者	〃	45人	〃 482回
精神障害者	〃	124人	〃 664回

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種の相談や教室の開催を実施しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター	溝沼老人福祉センター
開 館 日 数	292日	293日
年 間 利 用 者 数	58,689人	79,731人
1日平均利用者数	201人	272人
個 人 利 用 者 数	49,095人	71,132人
団 体 利 用 者 数	2,914人	2,813人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター	溝沼老人福祉センター
実 施 日 数	月 1 回	月 1 回
相 談 件 数	5 4 件	1 5 8 件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

区 分	きたはら	はまさき	みぞぬま	ねぎしだい	ひざおり
開館日数	2 9 2 日	2 9 4 日	2 9 4 日	2 9 4 日	2 9 3 日
年 間 利用者数	3 7, 7 5 2 人	3 4, 2 8 6 人	5 8, 4 6 2 人	3 6, 7 5 4 人	4 7, 3 7 1 人
1 日平均 利用者数	1 2 9 人	1 1 7 人	1 9 9 人	1 2 5 人	1 6 2 人

○主な年間事業

幼児・児童事業、交流事業、工作事業、合同事業、館外事業、調理事業、春まつり、夏まつり、クリスマス会等

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行なうことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

区 分	定 員	在籍数(年度当初)	延べ児童数
1. 本町放課後児童クラブ	1 1 5 人	1 1 4 人	1, 3 5 2 人
2. 朝志ヶ丘放課後児童クラブ	1 5 0 人	1 4 9 人	1, 6 9 1 人
3. 岡 放課後児童クラブ	1 2 0 人	1 2 1 人	1, 3 1 2 人
4. 膝折放課後児童クラブ	9 3 人	9 7 人	1, 0 6 3 人
5. 栄町放課後児童クラブ	1 3 5 人	1 3 5 人	1, 5 7 4 人
6. 浜崎放課後児童クラブ	1 3 5 人	1 3 5 人	1, 4 5 1 人
7. 泉水放課後児童クラブ	1 2 5 人	1 3 0 人	1, 4 6 9 人
8. 幸町放課後児童クラブ	9 4 人	9 3 人	1, 1 1 7 人
9. 根岸台放課後児童クラブ	8 0 人	6 0 人	6 4 6 人
10. 溝沼放課後児童クラブ	1 3 0 人	1 0 8 人	1, 1 3 6 人
合 計	1, 1 7 7 人	1, 1 4 2 人	1 2, 8 1 1 人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び等

10. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 平成27年5月28日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者15人
 - ・平成26年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告
 - ・平成26年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会寄付金会計・本部会計収支計算書
- 平成27年8月28日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者15人
 - ・平成27年度共同募金運動の実施について
- 平成28年3月28日 朝霞市総合福祉センター 会議室 出席者14人
 - ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画
 - ・平成28年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算

◇赤い羽根共同募金

- 期 間：10月1日～3月31日
- 目 標：9,000,000円
- 実 績 額：7,495,594円（埼玉県共同募金会へ全額送金）

◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：11月20日～3月31日
- 目 標 額：5,185,000円
- 実 績 額：5,185,258円（埼玉県共同募金会へ全額送金）

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤社員社資募集説明会

平成27年4月16日 朝霞市総合福祉センター 会議室

◇社員社資募集

- 強調月間：5月1日～5月31日
- 目 標 額：8,149,400円
- 実 績 額：6,461,551円（日本赤十字社埼玉県支部へ全額送金）

(3) 朝霞市遺族会の事務局

朝霞市遺族会の事務局として、団体と調整を図りました。